

他機関が実施する調査データ分析結果報告

(第 28 回長浜企業景況調査参考資料)

報告年月 令和 5 年 8 月

長浜商工会議所

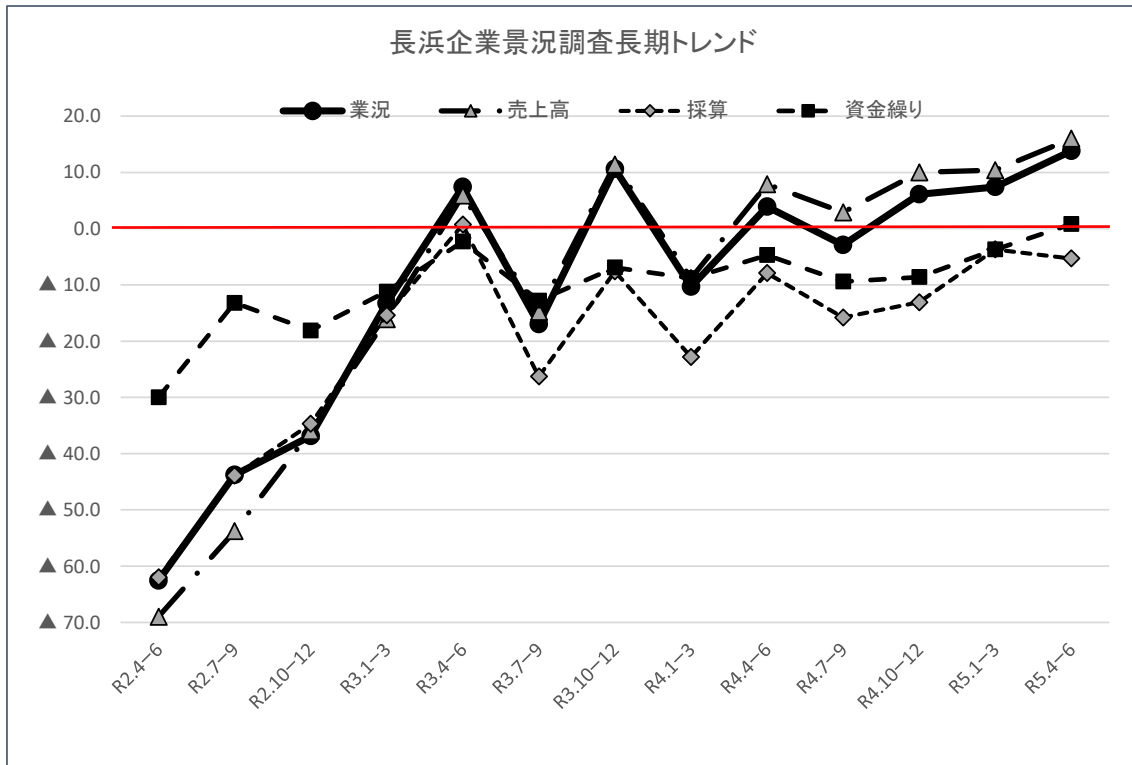
目 次

1. 長浜市の景況	
(1) 長浜企業景況調査…各種DIの長期トレンド	1
(2) 長浜企業景況調査…売上高DI、採算DI、採算の水準DIの推移	1
2. 滋賀県の景況	
(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）	2
(2) 県内経済概況（(株)しがぎん経済文化センター編）	5
(3) 中小企業アンケート結果（滋賀県信用保証協会編）	7
3. 近畿の景況	
(1) 地域経済動向（近畿）（内閣府編）	8
(2) 中小企業景況調査（近畿）（中小企業基盤整備機構編）	8
4. 全国の景況	
(1) 日銀短観（日本銀行）	9
(2) 中小企業景況調査（全国）（中小企業基盤整備機構編）	11

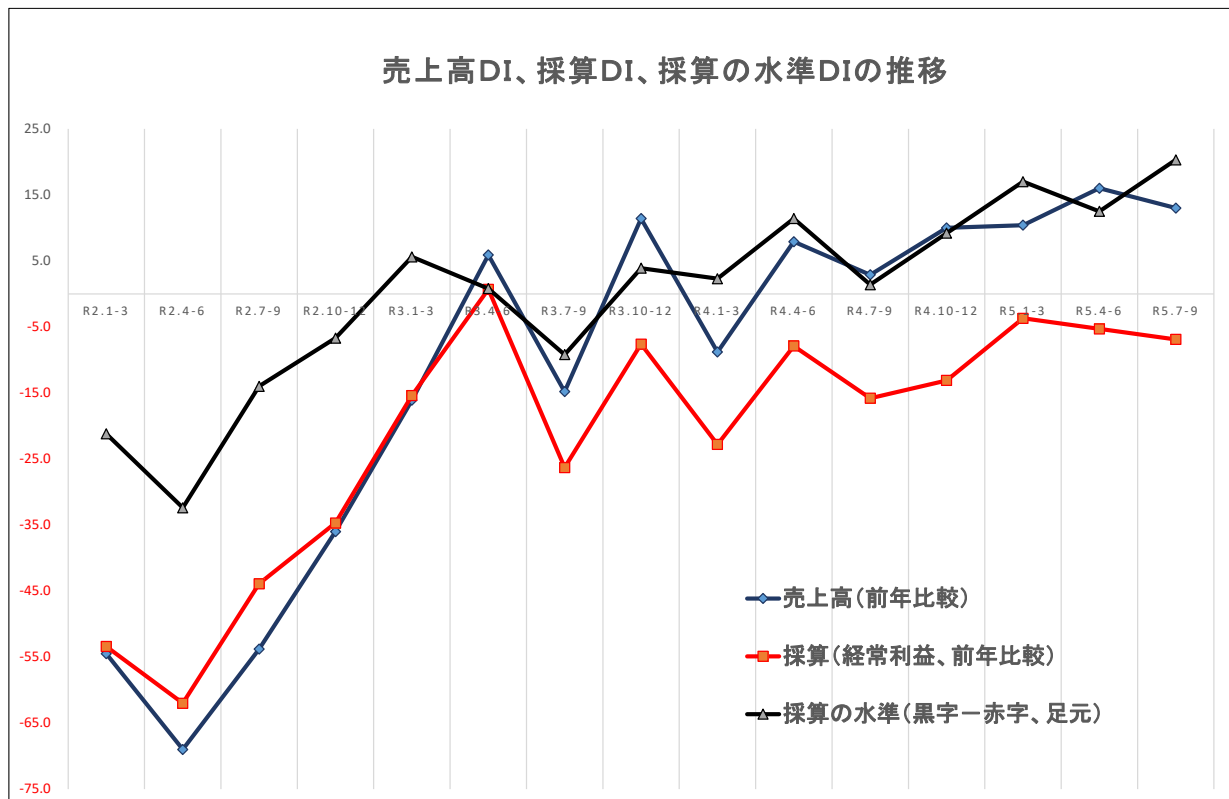
※本資料は上記資料をもとに作成したが、一部加筆変更部分が含まれる。

1. 長浜市の景況

(1) 長浜企業景況調査…各種DIの長期トレンド [前年同期比較]



(2) 長浜企業景況調査…売上高DI、採算DI、採算の水準DIの推移



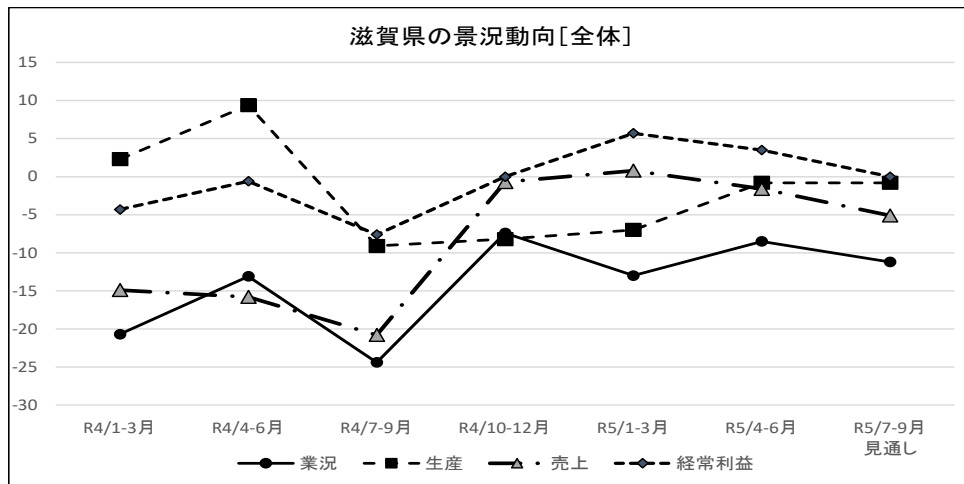
2. 滋賀県の景況

(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）

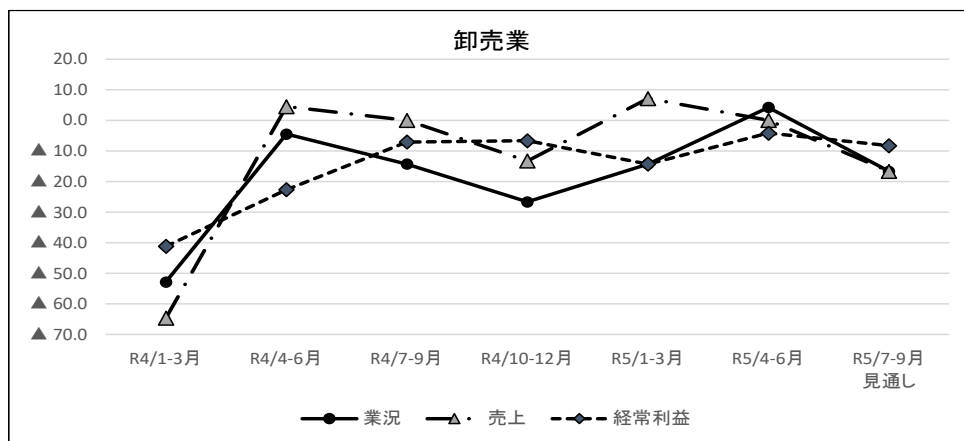
① 滋賀県の業種別景況動向（表中の傾向欄…●は好転、▲は横ばい、×は悪化を示す。）

（R5/4-6月実績、R5/7-9月見通し）〔前年同期比較〕

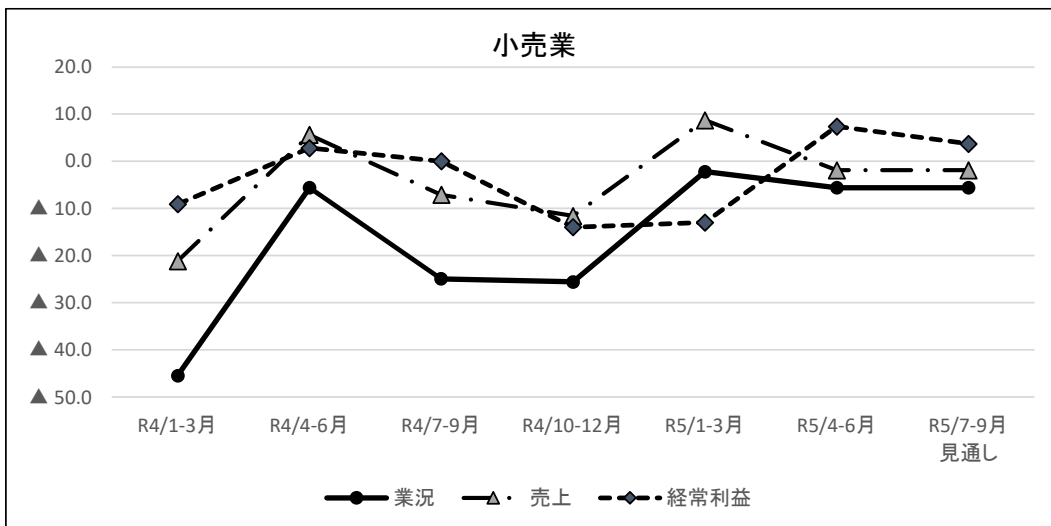
全体	R4/1-3月	R4/4-6月	R4/7-9月	R4/10-12月	R5/1-3月	R5/4-6月	R5/7-9月 見通し
業況	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 9.6	▲ 1.7	▲ 3.4
生産	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 18.8	▲ 3.4
売上	▲ 20.8	▲ 0.7	0.8	▲ 1.6	▲ 1.4	1.5	▲ 1.7
経常利益	▲ 7.6	0.0	5.7	3.5	▲ 3.6	10.2	11.7
雇用の水準	▲ 31.8	▲ 32.8	▲ 34.6	▲ 39.6	▲ 39.8	▲ 41.3	▲ 45.6
傾向	×	●	×	●	×	●	×



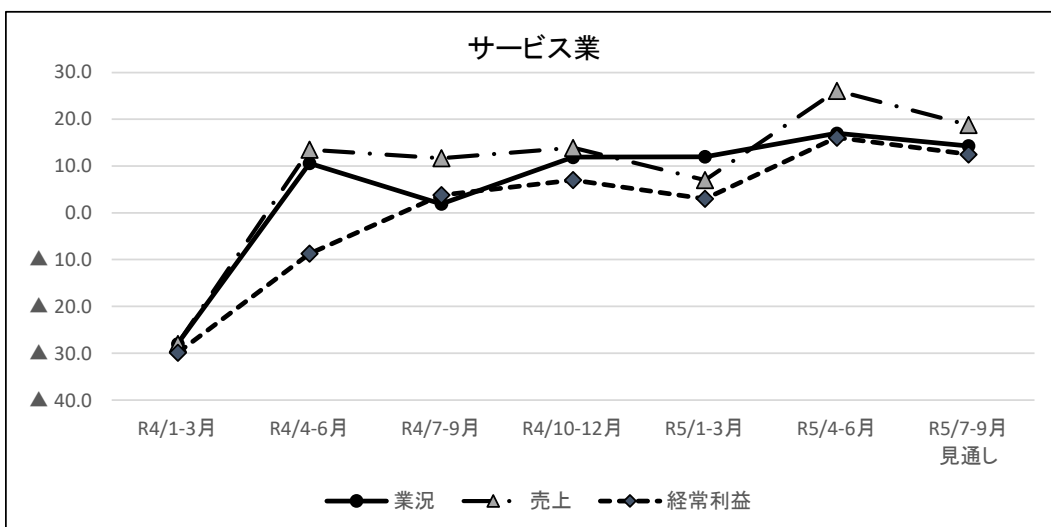
卸売業	R4/1-3月	R4/4-6月	R4/7-9月	R4/10-12月	R5/1-3月	R5/4-6月	R5/7-9月 見通し
業況	▲ 52.9	▲ 4.5	▲ 14.3	▲ 26.7	▲ 14.3	4.2	▲ 16.7
売上	▲ 64.7	4.5	0.0	▲ 13.3	7.1	0.0	▲ 16.7
経常利益	▲ 41.2	▲ 22.7	▲ 7.1	▲ 6.7	▲ 14.3	▲ 4.2	▲ 8.3
資金繰り	▲ 31.3	▲ 9.1	▲ 14.8	▲ 13.3	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 13.0
傾向	×	●	×	×	●	●	×



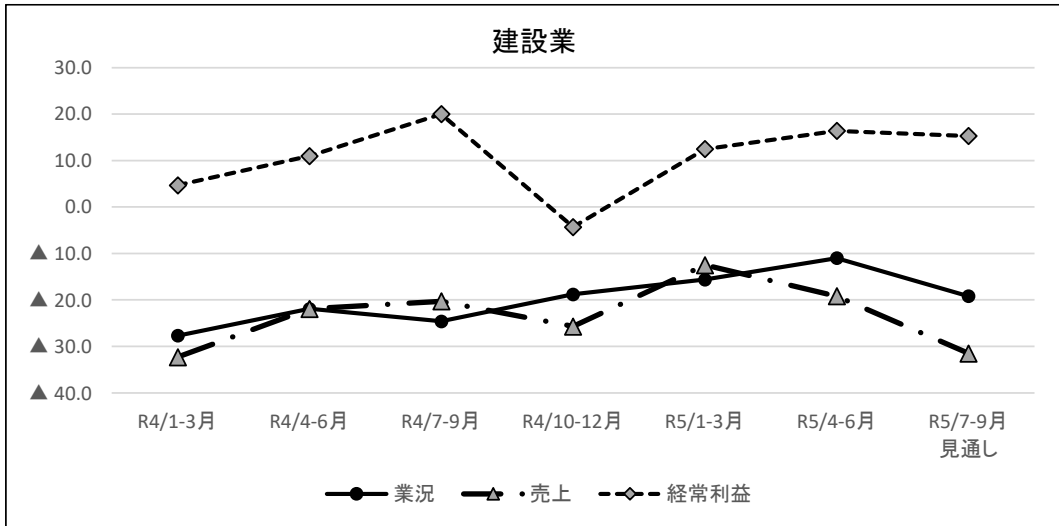
小売業	R4/1-3月	R4/4-6月	R4/7-9月	R4/10-12月	R5/1-3月	R5/4-6月	R5/7-9月 見通し
業況	▲ 45.5	▲ 5.6	▲ 25.0	▲ 25.6	▲ 2.2	▲ 5.6	▲ 5.6
売上	▲ 21.2	5.6	▲ 7.1	▲ 11.6	8.7	▲ 1.9	▲ 1.9
経常利益	▲ 9.1	2.8	0.0	▲ 14.0	▲ 13.0	7.4	3.7
資金繰り	▲ 38.7	▲ 16.7	▲ 22.2	▲ 20.9	▲ 15.2	▲ 26.4	▲ 22.6
傾向	●	●	×	×	●	×	▲



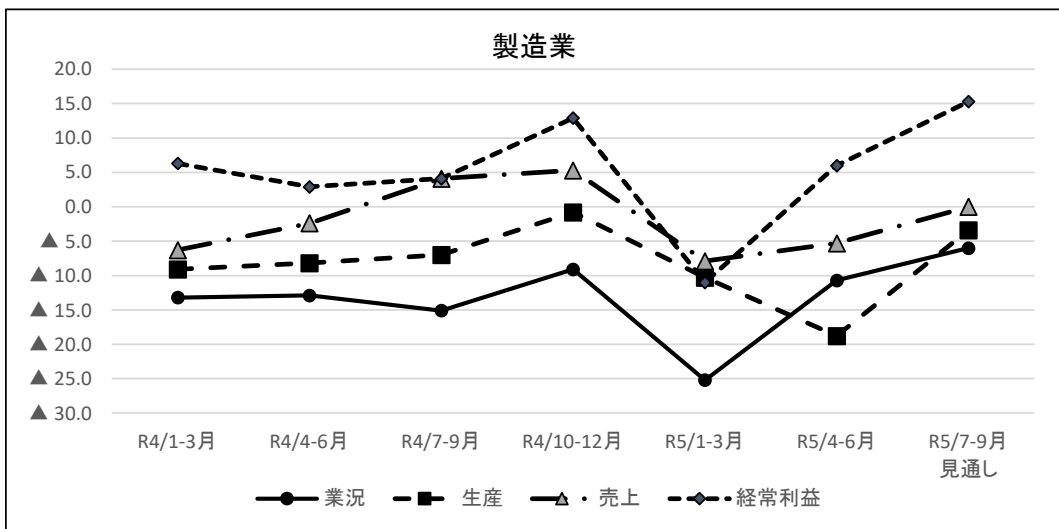
サービス業	R4/1-3月	R4/4-6月	R4/7-9月	R4/10-12月	R5/1-3月	R5/4-6月	R5/7-9月 見通し
業況	▲ 28.0	10.6	1.9	11.9	12.0	17.0	14.3
売上	▲ 28.0	13.5	11.7	13.9	7.0	26.1	18.8
経常利益	▲ 29.9	▲ 8.7	3.8	7.0	3.0	16.1	12.5
資金繰り	▲ 34.3	▲ 10.7	▲ 6.7	▲ 4.1	▲ 11.1	▲ 0.9	▲ 3.6
傾向	×	●	×	●	●	●	×



建設業	R4/1-3月	R4/4-6月	R4/7-9月	R4/10-12月	R5/1-3月	R5/4-6月	R5/7-9月 見通し
業況	▲ 27.7	▲ 21.9	▲ 24.6	▲ 18.8	▲ 15.6	▲ 11.0	▲ 19.2
売上	▲ 32.3	▲ 21.9	▲ 20.3	▲ 25.7	▲ 12.5	▲ 19.2	▲ 31.5
経常利益	4.7	11.0	20.0	▲ 4.3	12.5	16.4	15.3
資金繰り	▲ 13.3	▲ 11.0	▲ 2.9	▲ 4.5	▲ 15.6	▲ 4.1	▲ 9.6
傾向	×	●	×	●	●	●	×



製造業	R4/1-3月	R4/4-6月	R4/7-9月	R4/10-12月	R5/1-3月	R5/4-6月	R5/7-9月 見通し
業況	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 9.1	▲ 25.2	▲ 10.7	▲ 6.0
生産	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 18.8	▲ 3.4
売上	▲ 6.3	▲ 2.4	4.1	5.3	▲ 7.9	▲ 5.3	0.0
経常利益	6.3	2.9	4.1	12.9	▲ 11.0	6.0	15.3
資金繰り	▲ 15.3	▲ 17.0	▲ 10.5	▲ 12.2	▲ 18.3	▲ 11.4	▲ 9.4
傾向	×	●	×	●	×	●	●



② 滋賀県の景況調査 [企業から寄せられたコメント]

滋賀県内企業のコメント (R5/4-6月期)	
業況判断【好転】企業コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の終了により、飲食部門の売上が改善の見込み (小売業) ・コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、来客数・売上額が増加する見通し (サービス業) ・新型コロナによる行動制限がなくなり日本酒の引き合いが順調。中国向け輸出も再開した (製造業) ・付加価値の高い製品へのシフトを行い、少し利益改善が進んだ (製造業) ・人手不足は続いており、高齢化が著しい。働き手の確保や後継者の育成が喫緊の課題である (建設業)
業況判断【不変】企業コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料、副資材、水道光熱費等の値上げ分の価格転嫁が追い付いておらず、利益率が悪化している状態が続いている (製造業) ・人手については5月以降、求人に対する応募状況が好転し、採用に繋がっている (サービス業) ・仕入価格値上げによる販売価格転嫁によって売上額は昨年と比べて増加の見通し (小売業) ・原材料費高騰に伴い、利益改善見込めず (製造業) ・部品の価格上昇や、部品が手に入りにくい状態が続いている (製造業)
業況判断【悪化】企業コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアによるウクライナ戦争や円安、物流費の高騰、原油高などの影響があり、原価、物価の高騰が収まらない(小売業) ・売上は幾分回復してきているが、飼料代、電気代等の高騰により業績的には厳しい状況にある (製造業) ・電子部品入手困難による生産減少。来期7月以降改善の見通し (製造業) ・仕入価格の上昇と人手不足による営業体制の変更により、売上、収支共に悪化の見通し (小売業)

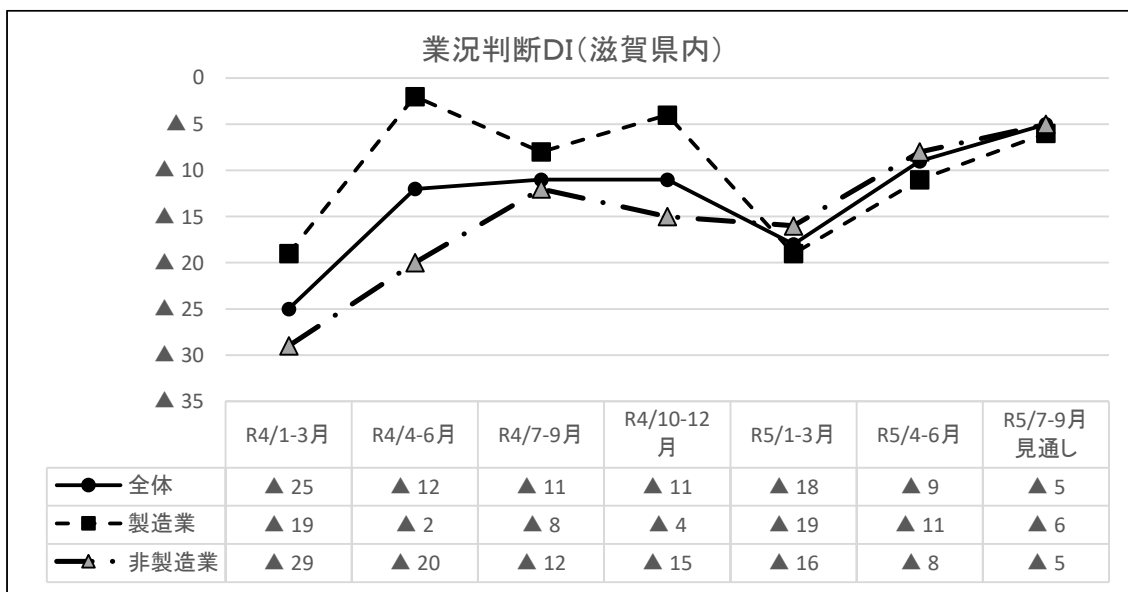
(2) 県内経済概況(株しがぎん経済文化センター編)

① 県内経済概況「概況」(令和5年5月ー令和5年7月公表)

R5/4	持ち直しの動きがやや弱まっている	<p>製造業の生産活動は、一進一退の動きの中で弱まっている。需要面では、小売業6業態計売上高の増加が続いているが、物価上昇分を勘案するとマイナスとなった。投資需要では、住宅投資と公共投資が大幅増加に転じたものの、民間設備投資は前年の特殊要因を除いても減少している。したがって、県内景気の現状は、持ち直しの動きがやや弱まっているとみられる。</p>
R5/5	緩やかに持ち直している	<p>製造業の生産活動は、一進一退の動きの中ではあるが回復している。需要面では、物価上昇分を勘案すると僅かながらマイナスとなっているものの、小売業6業態計売上高の増加が続いている。投資需要では、住宅投資と公共投資は大幅な減少となったが、民間設備投資は3か月ぶりの大幅増加となった。したがって、県内景気の現状は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。</p>
R5/6	緩やかに持ち直している	<p>製造業の生産活動は、一進一退の動きの中で弱まっている。需要面では、小売業6業態計売上高の増加が続き、物価上昇分を勘案してもプラスに転じた。投資需要では、民間設備投資は2か月ぶりの大幅減少となり、公共投資も大幅な減少が続いているが、住宅投資はマンション着工が大幅増加となり3か月ぶりに増加した。したがって、県内景気の現状は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。</p>

※内容は前月データに基づくコメント。

② 県内企業動向調査(R5/4-6月実績、R5/7-9月見通し) [前期比較]



景況感はコロナ禍前の水準まで回復					
	回答社数	R5/1-3月期	R5/4-6月期	傾向	R5/7-9月期見通し
製造業	119	▲ 19	▲ 11	●	▲ 6
繊維	7	▲ 57	▲ 29	●	▲ 29
木材・木製品	-	-	-	-	-
紙・パルプ	-	-	-	-	-
化学	9	0	▲ 11	×	11
石油・石炭	-	-	-	-	-
窯業・土石	-	-	-	-	-
鉄鋼	-	-	-	-	-
非鉄金属	-	-	-	-	-
食料品	9	▲ 9	22	●	56
金属製品	19	▲ 14	▲ 21	×	▲ 37
一般機械	8	0	0	▲	▲ 13
電気機械	6	▲ 38	0	●	▲ 17
輸送用機械	-	-	-	-	-
精密機械	-	-	-	-	-
その他	35	▲ 7	▲ 14	×	6
非製造業	149	▲ 16	▲ 8	●	▲ 5
建設	44	▲ 9	▲ 5	●	▲ 14
不動産	11	0	▲ 27	×	▲ 27
卸売	27	▲ 3	▲ 4	×	4
小売	24	▲ 46	▲ 17	●	9
運輸・通信	8	▲ 18	▲ 13	●	▲ 13
電気・ガス	-	-	-	-	-
サービス	23	▲ 14	13	●	9
リース	-	-	-	-	-
その他	7	▲ 10	▲ 29	×	▲ 14

③ 県内経済概況「県内景気天気図」[変化方向]

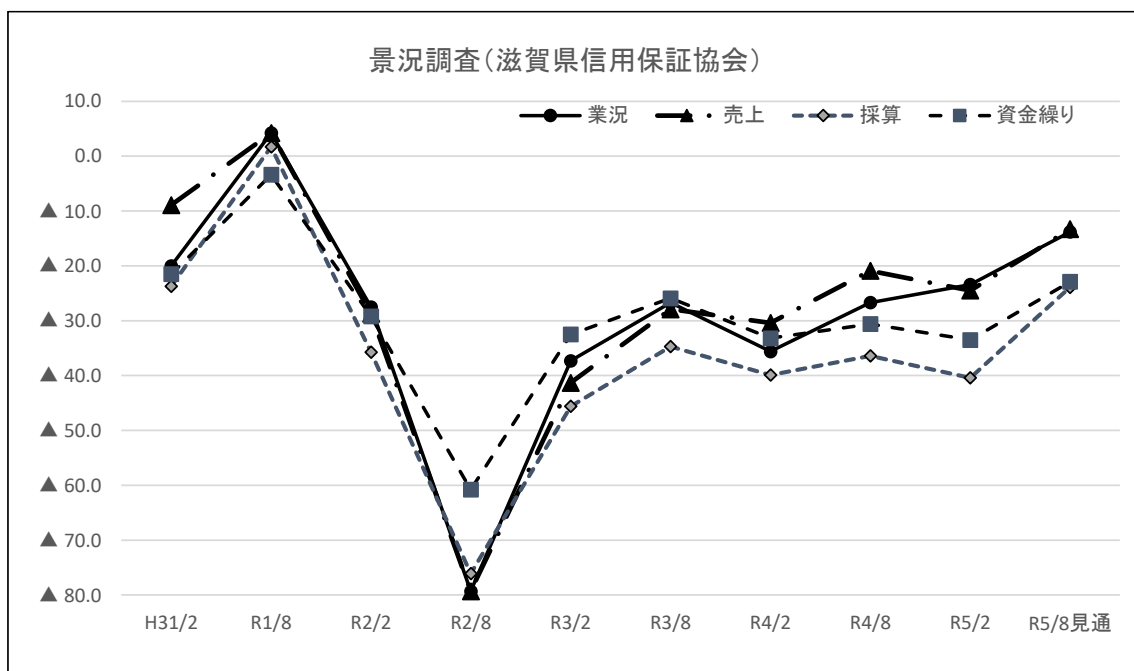
県内景気天気図	R4/12	R5/1	R5/2	R5/3	R5/4	R5/5
現在の景気	▲	▲	▲	▲	▲	▲
3か月後の景気	●	▲	▲	▲	▲	▲
生産活動	●	●	×	▲	●	×
個人消費	●	●	▲	▲	▲	●
民間設備投資	●	●	▲	×	●	×
住宅投資	×	×	●	▲	×	●
公共投資	×	×	●	●	×	×
雇用情勢	▲	▲	×	▲	▲	▲

* 変化方向…前月比、●は好転、▲は横ばい、×は悪化を示す。

(3) 中小企業アンケート結果(滋賀県信用保証協会編)

○景況調査結果 (R5/2)

実施内容	調査時期：令和5年2月		調査方法：無記名アンケート方式	
		配布数： 500	回答数： 188	回答率： 37.6%
業種構成	建設業 23.9%	サービス業 16.5%	製造業 20.2%	
	小売業 14.9%	不動産業 9.6%	運輸通信業 5.3%	
	卸売業 4.3%	その他 3.7%	回答なし 1.6%	
従業員規模	5人以下： 62.2%	6～20人： 25.5%	21人以上： 11.7%	



3. 近畿の景況

(1) 地域経済動向（近畿）（内閣府編）

令和5年5月

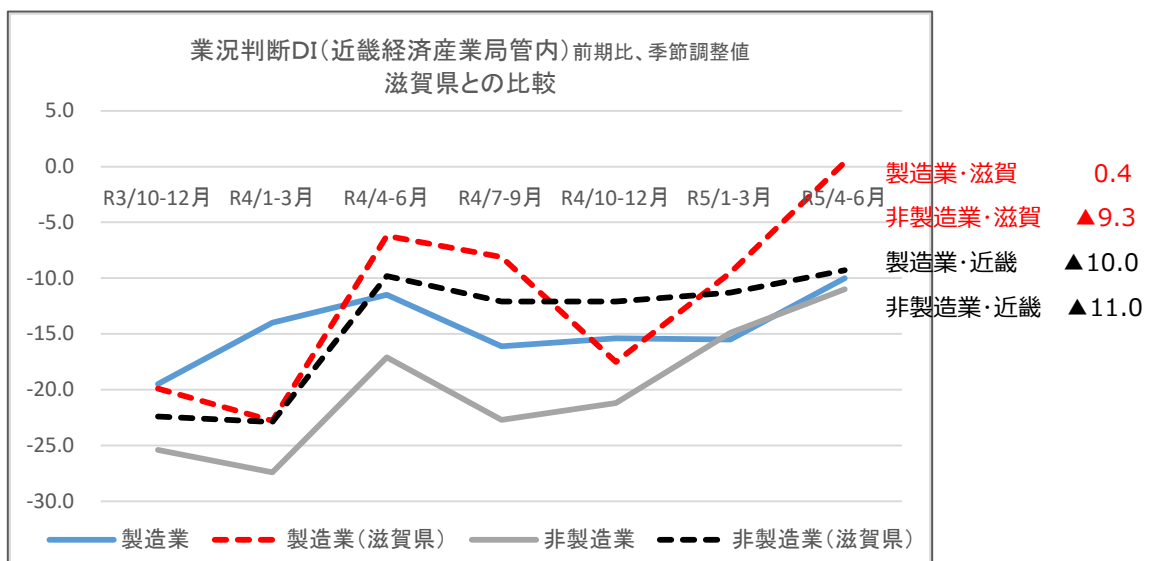
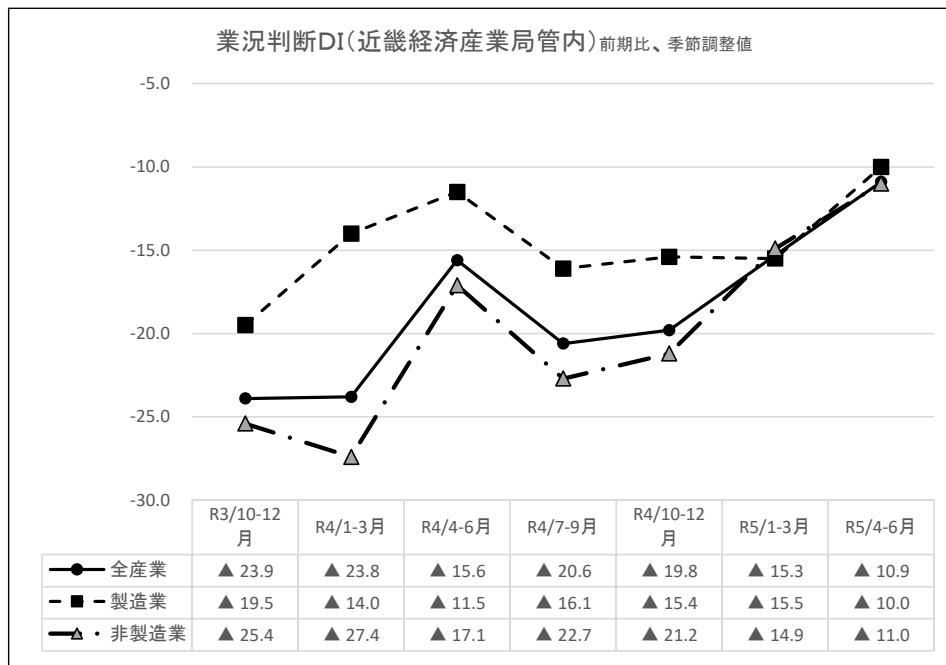
近畿地域では、景気は緩やかに回復している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は持ち直している。

(2) 中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構編）

「近畿地域」：業況判断DI [前期比較]

① 業種別業況判断DI



4. 全国の景況

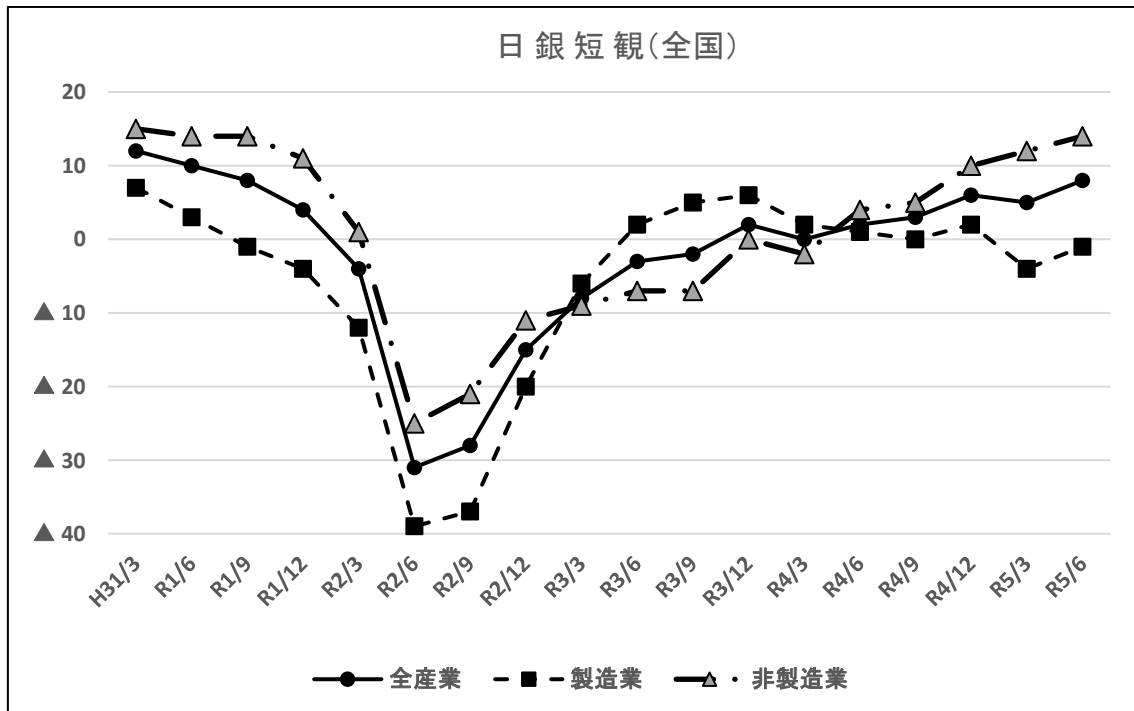
(1) 日銀短観（日本銀行）：業況判断 DI [前期比較]

① 概況

- ・大企業製造業は、前回調査（3月調査）から4ポイント改善の5となった。素材業種では、世界経済の減速による市況の悪化から化学では悪化が続いたものの、輸入価格の下落を受けて交易条件が改善に向かったことで、石油・石炭製品や紙・パルプを中心に前回調査から6ポイント改善した。また加工業種では、前回調査から3ポイントの改善となった。需要の落ち込みから生産にブレーキが掛かっている生産用機械や電気機械では悪化が続いたものの、価格転嫁が進む食料品や半導体不足の影響が緩和に向かっている自動車が大幅改善となり、全体を押し上げた。
- ・大企業非製造業は、前回調査から3ポイント改善の23となり、2019年6月調査と同じ水準まで回復した。コロナ禍での経済活動に対する制約の解消が進む中、行楽需要が回復へ向かったことで、特に宿泊・飲食サービスの業況感が大きく改善した。
- ・中小企業の業況判断 DI（最近）は、製造業では前回から1ポイント改善の-5、非製造業では3ポイント改善の11となった。製造業では2四半期ぶり、非製造業では5四半期連続で業況感が改善した。

（三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」（2023年7月3日）より）

② 業種別業況判断 DI



③ 設備投資計画（含む土地投資額）

- ・2022年度の大企業の設備投資計画（含む土地投資額）は、製造業では前年比+6.5%、非製造業では同+14.8%と、大きめのプラス幅で着地した。前年比プラスでの着地は、製造業では2019年以来3年ぶり、非製造業では2018年以来4年ぶりのことである。
- ・2023年度の設備投資計画は、大企業製造業は前年比+19.3%、非製造業は同+10.1%と投資意欲は底堅く、コロナ禍で抑制されていた老朽設備の維持・更新投資に加え、重要度が増している研究開発投資や情報化投資、労働需給がタイト化する中で求められている省力化投資、脱炭素に向けた環境対応投資等、様々な投資ニーズに支えられて、設備投資は着実に増えていくとみられる

（三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」(2023年7月3日)より）

- ・中小企業の2023年度計画では、特にソフトウェア投資並びに研究開発投資が目立っている。

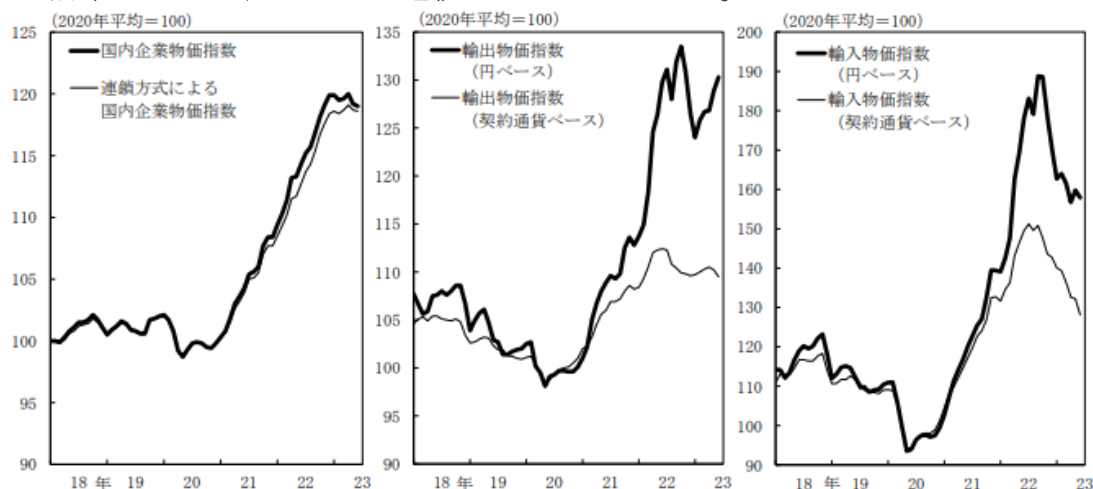
設備投資計画 (含む土地投資額)		2022年度 (実績)	2023年度(計画)	
			3月調査	6月調査
大企業	製造業	6.5	5.8	19.3
	非製造業	14.8	1.6	10.1
中小企業	製造業	17.2	2.2	-3.1
	非製造業	-3.0	1.0	5.8

*含む土地投資額、除くソフトウェア投資額及び研究開発投資額

ソフトウェア投資額		2022年度 (実績)	2023年度(計画)	
			3月調査	6月調査
大企業	製造業	16.8	5.7	17.5
	非製造業	11.9	6.1	9.2
中小企業	製造業	4.8	12.5	29.3
	非製造業	-5.2	3.7	18.6

④ 企業物価指数（2023年6月速報）

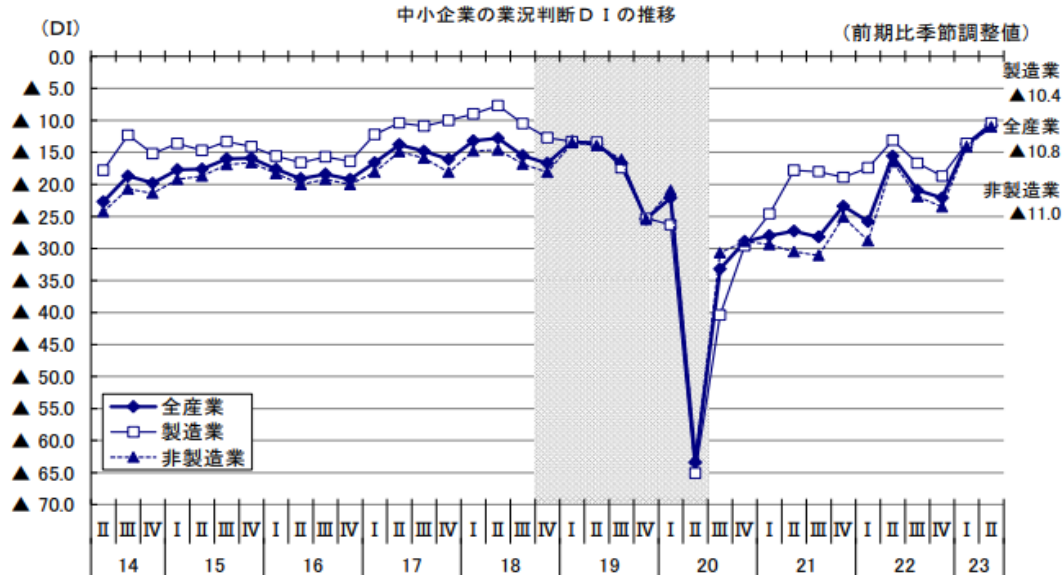
6月の国内企業物価指数は119.0、前年比4.1%でプラスは28カ月連続だが6カ月連続で上昇率は鈍化した。これは原油等のエネルギー価格が下落傾向にあることや再生可能エネルギー付加金の減額（4月使用分より）により電力や都市ガスの料金が下落したことが主な要因。輸入物価指数（円ベース）は前年比▲11.3%で3カ月連続マイナスとなった。



(2) 中小企業景況調査 (中小企業基盤整備機構編) 「全国」 [前期比較]

①業種別業況判断DI

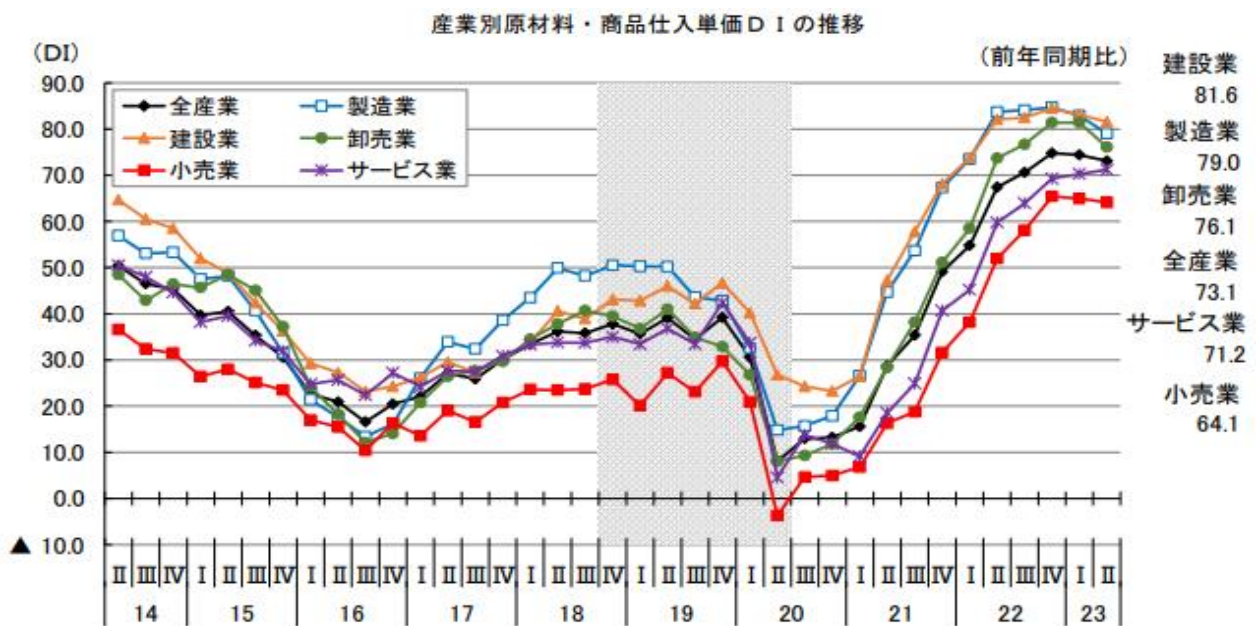
全産業の業況判断DIは▲10.8 (前期差 2.9 ㊦増) となり 2期連続してマイナス幅が縮小した。製造業は▲10.4 (同 3.2 ㊦増)、非製造業は▲11.0 (同 3.1 ㊦増) で両業種とも 2期連続してマイナス幅が縮小した。



(注) シャドー部分は景気後退期

②トピックス：産業別原材料・商品仕入単価DIの推移について

全産業の原材料・商品仕入単価DIは73.1 (前期差 1.3 ㊦減) と 2期連続してプラス幅が縮小した。サービス業で71.2 (同 0.9 ㊦増) とプラス幅が拡大したが、卸売業で76.1 (同 5.3 ㊦減)、製造業で79.0 (同 3.9 ㊦減)、建設業で81.6 (同 1.5 減)、小売業で64.1 (同 0.8 ㊦減) とプラス幅が縮小した。



(中小企業診断士 川副 郷一郎)